

## 外郭団体評価 改善状況報告調書(平成20年度評価分)

<b>団体名</b>	社会福祉法人新潟市社会福祉協議会	<b>所管課</b>
		健康福祉総務課

### 1. 評価調書【今後の取り組み】の改善状況

【今後の取り組み】							
<p>財政基盤の強化, 自主財源の確保を念頭に経費節減に努め, 介護保険事業等の財政健全化を図る。平成20年度には, 社協活性化検討委員会を設置し, 会員制の意義を再確認し, 会員会費及び共同募金等の自主財源の安定確保について方策を検討する。</p>							
<b>改善・対応区分</b>		✓ <b>改善・対応済み</b>	<b>改善・対応中</b>	<b>検討中</b>	<b>実施しない</b>		
<b>これまでの改善・対応内容</b>		<p>新潟市社協活性化検討委員会を設置し, 5回の会議を行い, 会員制や会費集金方法の問題整理, 会員増強の具体策, 自主財源を活用した新たな事業(にいがた安心ささえ愛ネット)展開等を検討し, 報告書にまとめた。介護保険事業については, 引き続き経費節減に努め, サービスの標準化を進め, 地域住民から支持されるよう, 事業所単位で社協の介護サービスならではの地域貢献事業を企画し, 予算化した。</p>					
今後の改善・対応	<b>今後の改善・対応方針等</b>		<p>報告書の中では特に企業等の賛助会員を増強することが謳われ, 従来のダイレクトメールによる依頼の他に役職員が訪問を行い募集に努めたり, 企業側にとってインセンティブを得られるように「冠事業」を展開できるようにするなどの具体策を展開する。介護事業所で行う地域貢献事業を今後も継続し, 得られた収益を地域福祉に還元することを積極的に進める。</p>				
	<b>実施事項</b>		20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	
	工程	自主財源の安定確保(賛助会員の増強)	自主財源確保の検討	企業訪問等による会員募集	→		
		介護事業所による地域貢献事業	実施事業の具体化, 予算化	事業実施・評価	→		

【今後の取り組み】						
<p>新・新潟市社協創造計画を基本計画に位置づけてその具体的なアクションプランとして, 区ごとのオリジナリティを尊重しながら住民参加により地域福祉活動計画を策定する。</p>						
<b>改善・対応区分</b>		✓ <b>改善・対応済み</b>	<b>改善・対応中</b>	<b>検討中</b>	<b>実施しない</b>	
<b>これまでの改善・対応内容</b>		<p>各区ごとに行政計画である地域福祉計画と一体的に策定した。策定のプロセスは, 市の行う福祉のまちづくりアンケートを基にして, 住民座談会を分野別, 地域別に開催し, きめ細やかに住民の声を拾い, 自治協議会から意見を求めながら経過を策定した。進行管理については, ささえあいプラン推進委員会を組織し, 進捗状況の把握と計画評価を行う。</p>				
今後の改善・対応	<b>今後の改善・対応方針等</b>		<p>進行管理については, ささえあいプラン推進委員会を組織し, 進捗状況の把握と計画評価を行う。</p>			
	<b>実施事項</b>		20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
	工程	地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理	計画策定完了	ささえあいプラン推進委員会設置・進行管理	→	

【今後の取り組み】						
<p>小地域で展開される福祉活動を支援するための区社協をさらに発展させるためにプロパー職員を専門職として育成する。また, プロパー職員の管理職への登用を進めるため研修の機会を積極的に設け, 資質向上を目指す。</p>						
<b>改善・対応区分</b>		<b>改善・対応済み</b> ✓	<b>改善・対応中</b>	<b>検討中</b>	<b>実施しない</b>	
<b>これまでの改善・対応内容</b>		<p>小地域, コミュニティ単位で課題解決を進める「にいがた安心ささえ愛ネット」では個別支援を念頭においているため, 政令市移行時に各区に配置したコミュニティソーシャルワーカー(CSW)の育成を具体的な事例を通して図る体制を整えた。また, プロパー職員による自律した組織運営のためにプロパー管理職を登用するための育成を積極的に図った。</p>				
今後の改善・対応	<b>今後の改善・対応方針等</b>		<p>CSWの育成を積極的に進めるために組織横断によるプロジェクトチームを編成し, 内部職員からスーパーバイザーを選任し, 個別事例の検討を通じて課題解決能力を向上させる。また, プロパー職員の管理職登用をさらに進めるため, 課長補佐, 区社協事務局長に積極登用する。</p>			
	<b>実施事項</b>		20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
	工程	CSWの育成のためのプロジェクトチーム(PT)の設置と支援	安心ささえ愛ネット事業の企画	月1回のPT会議の開催・事例研究	→	
	プロパー職員の管理職登用	育成のための研修	管理職登用	→		

【今後の取り組み】						
介護職員の離職率が高く、欠員補充に苦慮する現状から、総体的な給与水準の見直しを図りつつ、専門職にふさわしい待遇を確立し、仕事へのやりがいを高め、定着率を上げていくことを検討する。						
改善・対応区分		改善・対応済み	✓	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		21年度に向け、正職員については、一般職、技術職の区分を廃止し、統一した給与表に改め、臨時職員については、登録ヘルパーの基本賃金を増額、移動手当の新設、介護福祉士資格取得報奨金の支給等待遇改善を図り、定着率を上げる措置を講じた。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		引き続き、健全財政を堅持しながら人材の流出を食い止めるため、他事業者の待遇との均衡も考慮しながら待遇改善に努める。			
	実施事項		20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
	給料表の統一（一般職・技術職の廃止）	財源確保のための検討	実施			
	非正規職員の待遇改善	財源確保のための検討	実施			

## 2. 評価調書【総合評価】における「今後の取り組みに対する評価、改善指示事項」の改善状況

【総合評価】今後の取り組みに対する評価、改善指示事項							
「地域福祉活動計画」の策定にあたっては、事業等の具体的な数値目標を含めた計画として策定する必要がある。							
改善・対応区分		改善・対応済み		改善・対応中	✓	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		今期の計画策定は、政令市となって初めてであったため、財源確保等の関係で具体的な数値目標を盛り込むまでには至らなかった。					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		次期計画の更新の際に盛り込むべく検討を行う。				
	実施事項		20 年度	21 年度	… 年度	26 年度	
	地域福祉活動計画の数値目標化	計画策定	計画開始			計画見直し	

【総合評価】今後の取り組みに対する評価、改善指示事項						
計画の達成状況について検証する体制を構築することも必要である。						
改善・対応区分		✓	改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		計画の進捗状況と評価を行うために各区で「ささえあいプラン推進委員会」を設置し、計画達成状況の検証を行う。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		委員の人選、検証時期、検証方法等を定め、具体的に実施する。			
	実施事項		20 年度	21 年度	… 年度	26 年度
	ささえあいプラン推進委員会の設置	計画策定	推進委員会の設置	定期的な評価・検証		計画見直し

【総合評価】今後の取り組みに対する評価、改善指示事項										
事業内容の紹介に加えて事業の目標とその達成状況等も市民に積極的に開示することにより、認知度を高めて会費や寄附金等の増加につなげることが必要である。(事業の内容・目標、達成状況等の開示による認知度の向上について)										
改善・対応区分		改善・対応済み		改善・対応中		✓ 検討中		実施しない		
これまでの改善・対応内容		事業内容の紹介については、新聞折り込みによる機関紙やホームページ、パンフレット等で積極的に開示に努めてきたが、具体的な事業目標や達成状況等の開示にまでは至っていないことを振り返り、検討する。								
今後の改善・対応工程	今後の改善・対応方針等		多くの市民に社協活動に興味を持ってもらうため、従来バラバラに制作してきた広報紙、ホームページ、パンフレットをデザイン的にも統一感のあるものにリニューアルし、ホームページでは最新情報の更新、ブログによる情報提供等、内容についても見やすく、かつ各種事業や組織目標など具体的な中身を積極開示できるように進める。							
	実施事項		20年度		21年度		22年度		23年度	
	積極的な情報開示による社協認知度の向上		課題整理		広報紙、ホームページ等のリニューアル		→			